資料１

江戸バス利用者の属性

1. 江戸バス利用者の属性について 1
1.1 江戸バス利用者の年齢構成 1
1.2 江戸バスの利用目的.....2
2. バス停別の利用傾向について 3
2.1 北循環.....3
2.2 南循環.....5

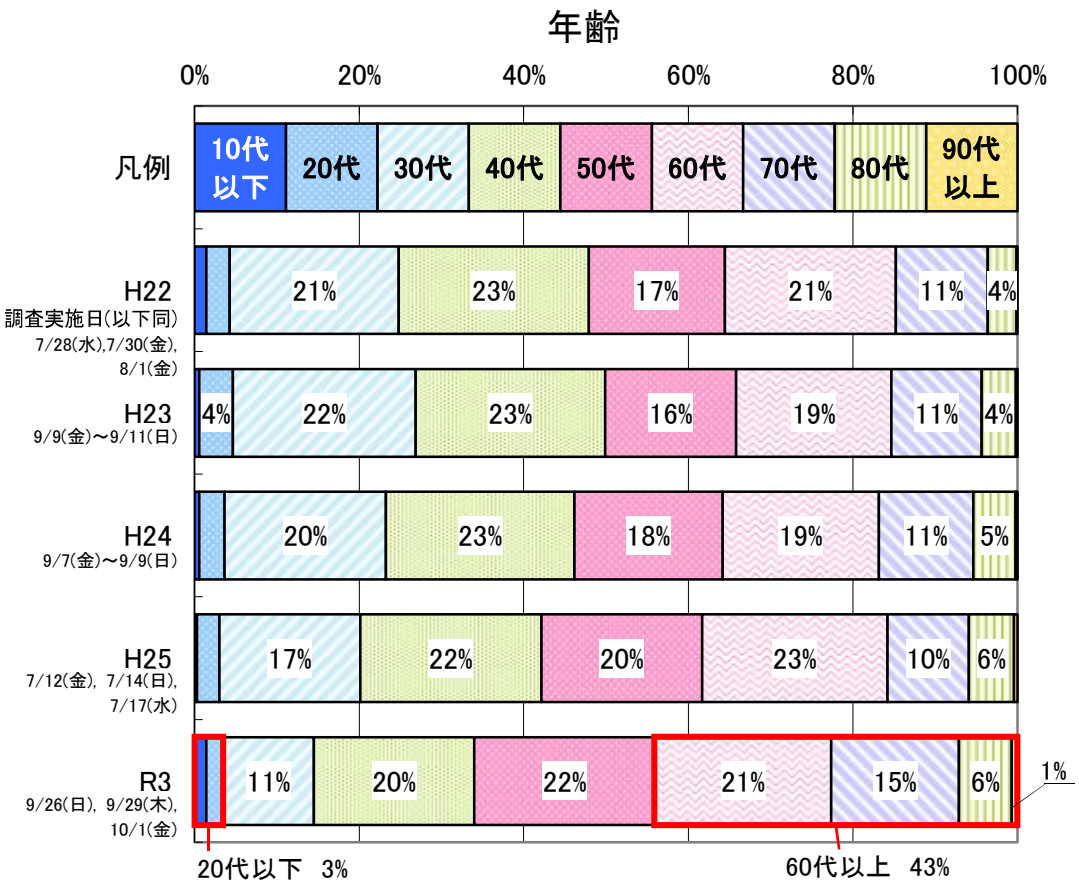
1．江戸バス利用者の属性について

令和３年９月２６日(日)、９月２９日(水)、１０月１日(金)の三日間の利用者アンケート調査にて把握した江戸バス利用者の年齢構成及び利用目的は以下のとおりである。

1.1　江戸バス利用者の年齢構成

・20 代以下の若年層は 3%と少ない一方、60 代以上が 40%以上を占めている。

・過年度調査結果と比較すると、平成 23 年より、高齢の方の割合が増加している。



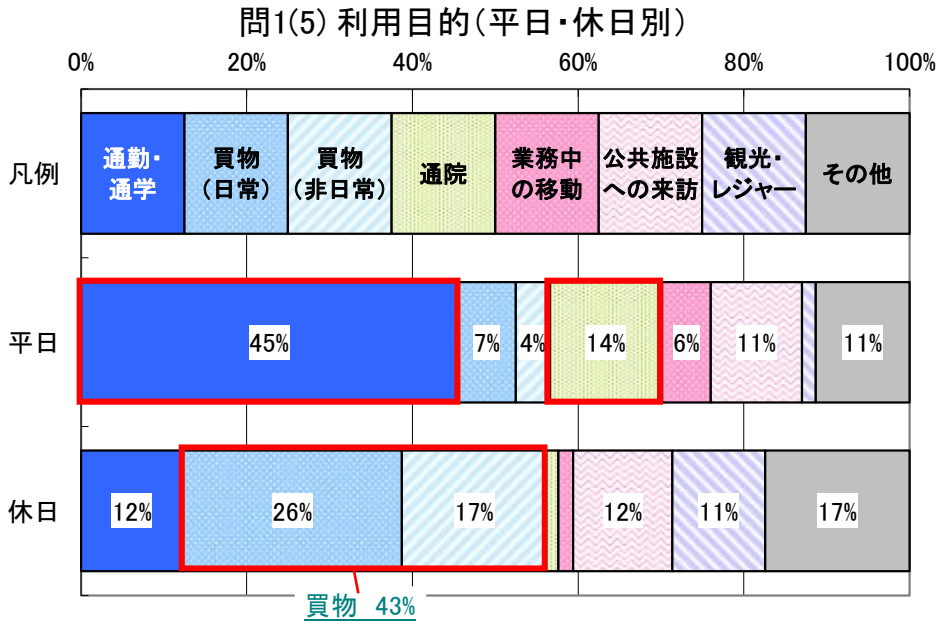
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
回答数（人）	H22	15	30	215	242	173	218	117	37	1
	H23	6	41	224	233	161	190	111	42	2
	H24	5	27	171	200	157	166	100	45	2
	H25	3	27	170	219	194	224	98	55	4
	R3	13	18	99	175	197	192	139	58	6
シェア	H22	1%	3%	21%	23%	17%	21%	11%	4%	0%
	H23	1%	4%	22%	23%	16%	19%	11%	4%	0%
	H24	1%	3%	20%	23%	18%	19%	11%	5%	0%
	H25	0%	3%	17%	22%	20%	23%	10%	6%	0%
	R3	1%	2%	11%	20%	22%	21%	15%	6%	1%

1.2　江戸バスの利用目的

・平日では「通勤・通学」が 45%と最も多く、次いで「通院」が 14%を占めている。

・休日では「買物」目的での利用が多く、「買物（日常）」、「買物（非日常）」を合わせると 43%である。

・「公共施設への来訪」のために利用している方は、平日・休日ともに 10%程度を占めている。



	回答数(人)		シェア	
	平日	休日	平日	休日
通勤・通学	379	34	45%	12%
買物(日常)	59	73	7%	26%
買物(非日常)	34	48	4%	17%
通院	113	4	14%	1%
業務中の移動	49	5	6%	2%
公共施設への来訪	92	33	11%	12%
観光・レジャー	14	31	2%	11%
その他	94	48	11%	17%
合計	834	276	100%	100%

2．バス停別の利用傾向について

令和３年度の乗降カウント調査にて把握したバス停別の乗降者数は以下のとおりである。

2.1　北循環

〔平日〕9/29（水）・10/1（金）

・「中央区役所（発）」「新富二丁目」での乗客数が他のバス停に比べると特に多い。

・降客数では、「東京駅八重洲北口」と「中央区役所（着）」が特に多い。

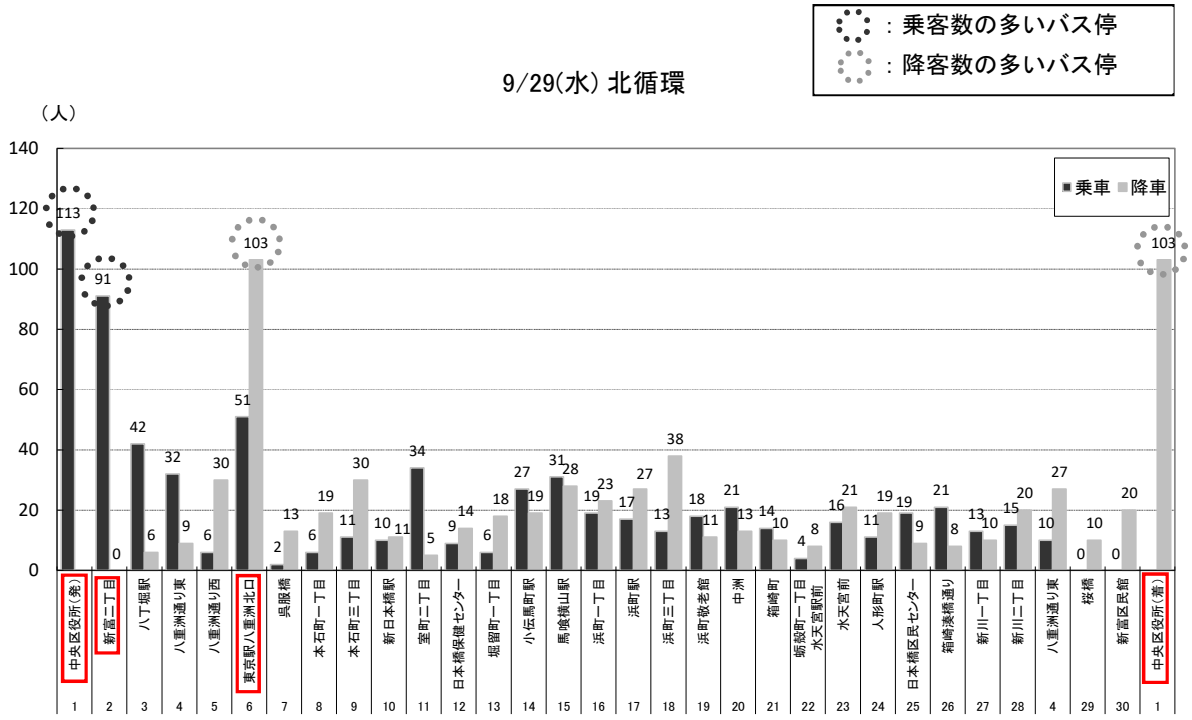


図２-1　平日（9/29（水））バス停別利用客数【北循環】

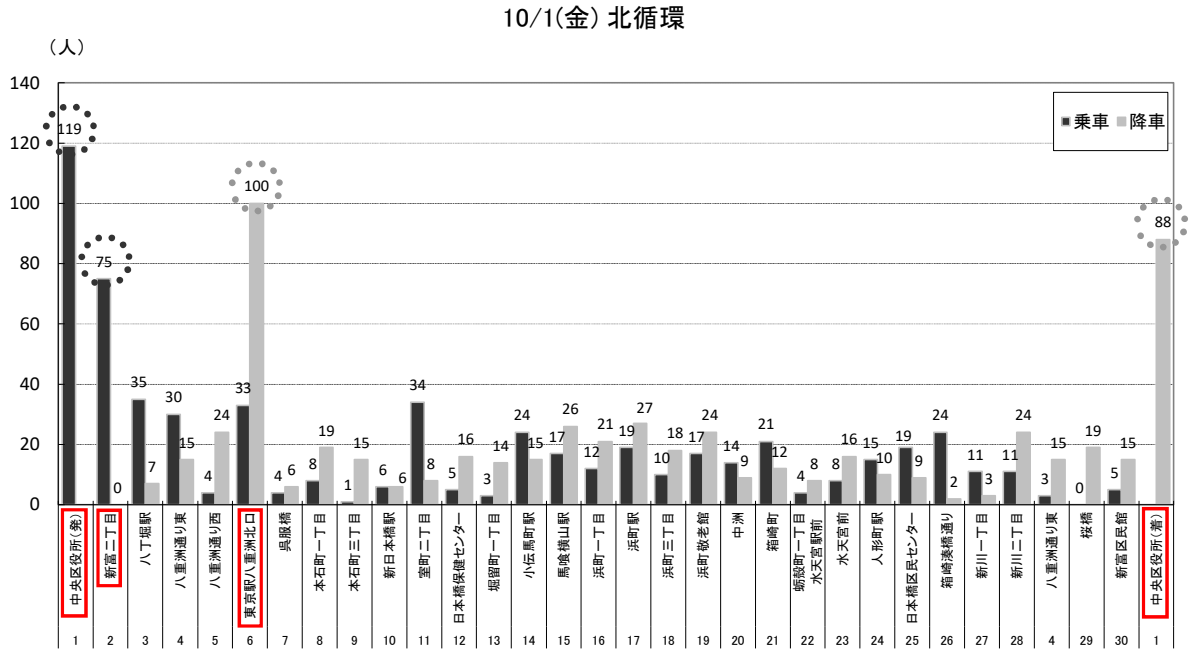


図２-2　平日（10/1（金））バス停別利用客数【北循環】

〔休日〕9/26（日）

・休日の乗客数は、「中央区役所（発）」「新富二丁目」で多く、降客数は「東京駅八重洲北口」「中央区役所（着）」が多い。

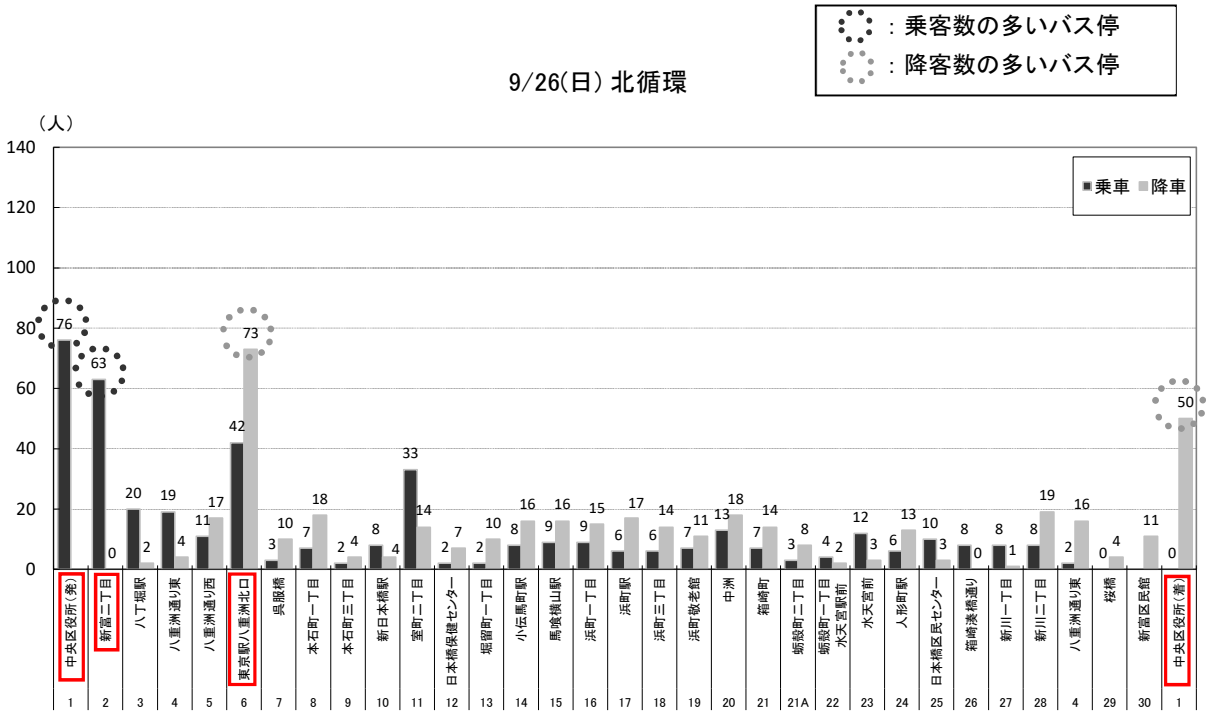


図２-3　休日（9/26（日））バス停別利用客数【北循環】

〔平日と休日の比較〕

・多くのバス停で、休日の乗降客数が平日の乗降客数の７割程度となっている。

・「室町二丁目」の乗客数については平日と休日がほぼ同じとなっている。

2.2　南循環

〔平日〕9/29（水）・10/1（金）

・「中央区役所（発）・（着）」「聖路加国際病院」での乗降客数、「新島橋南」「勝どき駅前」での乗客数、「シニアセンター」での降客数が多い。

・北循環に比べて南循環の方が利用客数が多い。

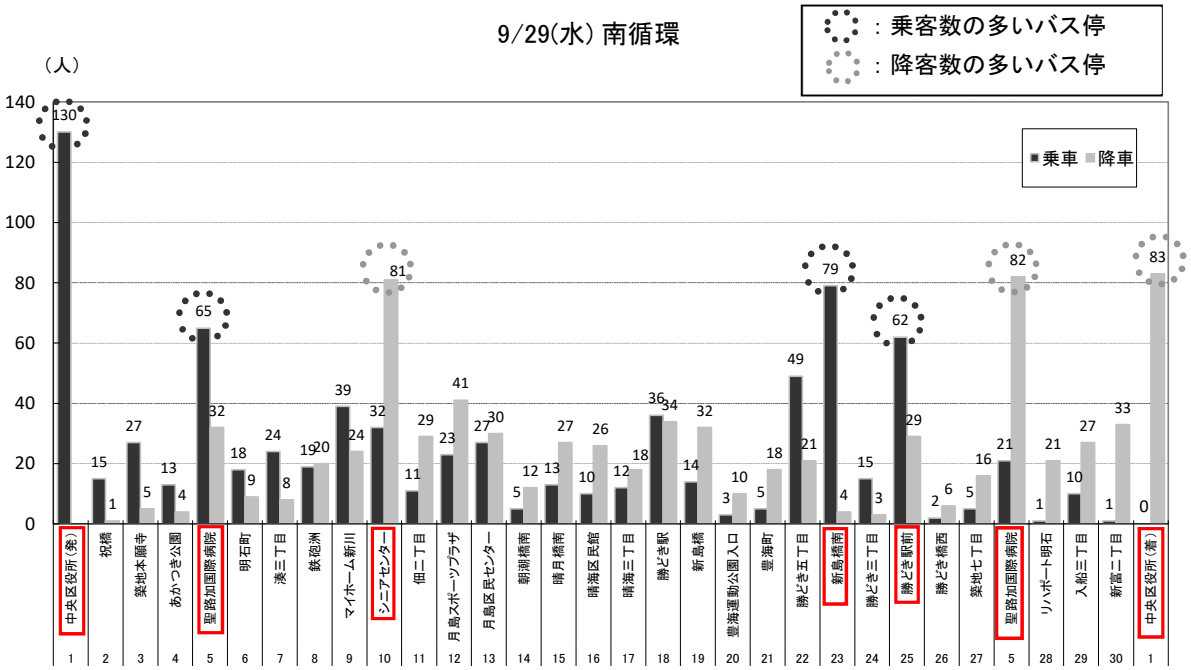


図２-4　平日（9/29（水））バス停別利用客数【南循環】

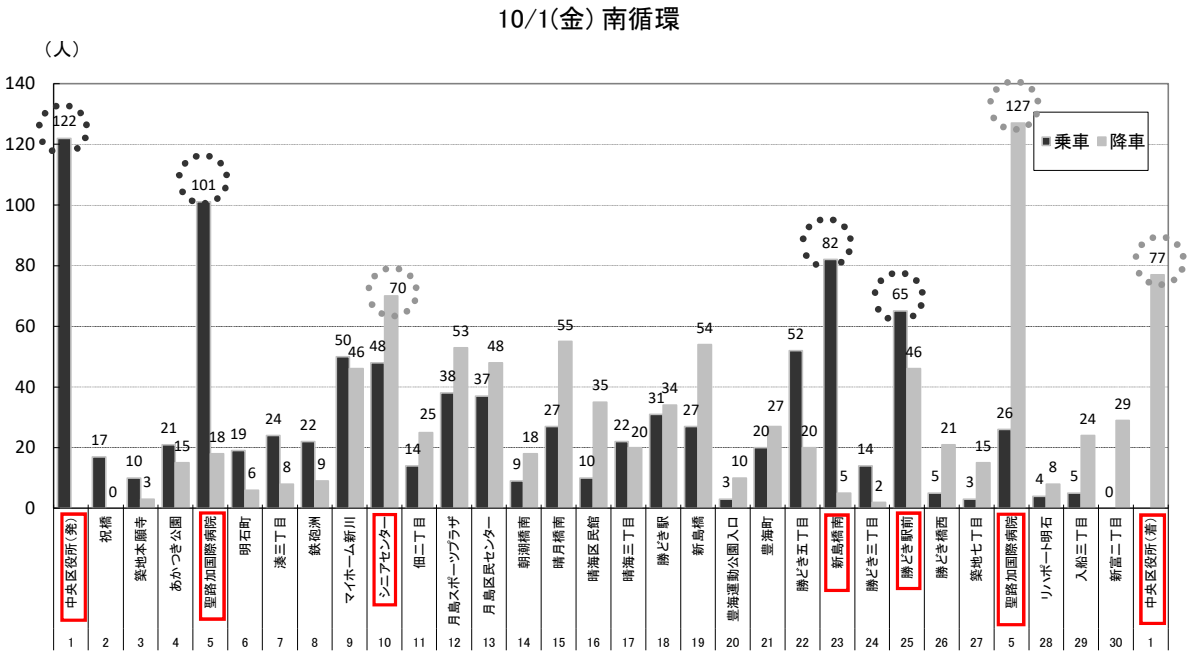


図２-5　平日（10/1（金））バス停別利用客数【南循環】

〔休日〕9/26（日）

・「中央区役所（発）・（着）」での乗降客数、「新島橋南」での乗客数、「シニアセンター」「月島スポーツプラザ」での降客数が多い。

・休日のみ運行を行っている「祝橋南」から「築地場外市場前」までの６つの停留所の中では、銀座駅に最も近い「三原橋」での乗降が最も多い。

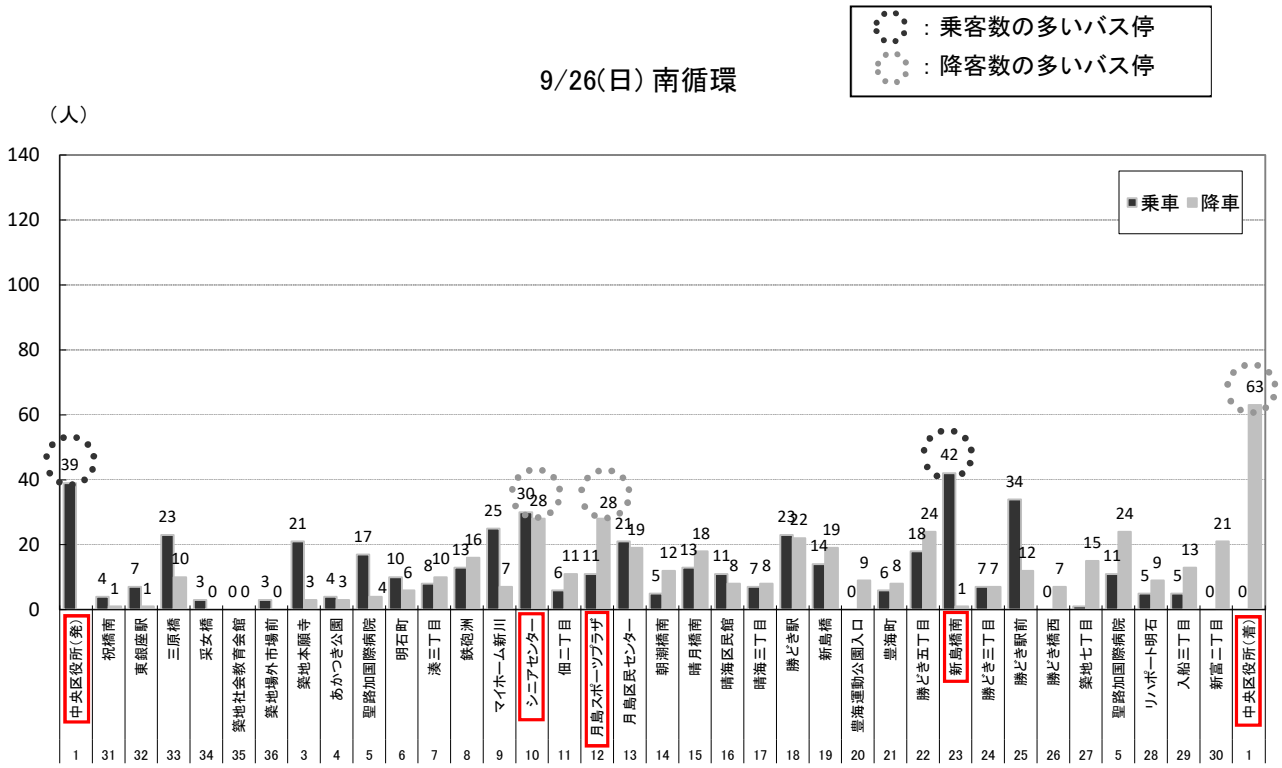


図２-6　休日（9／26（日））バス停別利用客数【南循環】

〔平日と休日の比較〕

・平日と比較して休日では、「聖路加国際病院」「中央区役所（発）・（着）」での乗降者数が特に減少している。

・休日の利用客数は平日の半数程度となっている。